

2013年度 後期	リフレクションペーパー
-----------	-------------

学科名	情報学科						
科目名	数学Ⅱ						
科目区分	専門科目	単位数	2単位	開講時期	1年後期		
必修・選択の別	選択科目(ソフトウェアコース)／選択科目(ネットワークコース)						
担当者	塚田春雄						
授業の到達目標 (シラバスから)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・導関数と微分係数の計算ができる。</li> <li>・関数の増減表を作成できる。</li> <li>・原始関数と積分の計算ができる。</li> <li>・偏導関数の計算ができる。</li> <li>・重積分の計算ができる。</li> </ul>						
日程と内容	<p>第1回：導入講義  第2回：微分係数と導関数：微分係数および導関数の定義の理解し、具体例を計算する。  第3回：微分法の公式：微分法の基本的な公式を理解する。  第4回：接線の方程式：接線の方程式を理解し、具体例を計算する。  第5回：増減表：関数の増減表を作成する。  第6回：原始関数と積分：原始関数（逆導関数）と符号付きの面積としての積分の概念を理解する。  第7回：微積分学の基本定理：原始関数と積分の関係を理解して、積分を計算する。  第8回：まとめ  第9回：置換積分法：変数変換により原始関数と積分を計算する。  第10回：部分積分法：部分積分法により原始関数と積分を計算する。  第11回：積分の応用：面積、体積、長さ等の計算に積分を応用する。  第12回：偏微分係数と偏導関数：偏微分係数および偏導関数を理解し、具体例を計算する。  第13回：二変数関数の極大・極小判定  第14回：重積分：重積分を理解し、具体例を計算する。  第15回：まとめ  定期試験</p>						
成績評価基準	定期試験	70%	実技				
	臨時試験	30%	部外評価				
	報告書・レポート		プレゼンテーション				
	課題		計	100%			
	演習						
授業到達目標の達成度	今年度は入学生のレベルが上がり、おおむね目標を達成できた。						
反省点	私語がなかったのは良かった。						
来年度の計画	来年度の入学生の様子を見ながら、もう少しレベルを上げる予定である。						
授業評価アンケートに対するコメント	説明がわかりやすいというコメントが多く、概ね好評であった。よりわかりやすい説明を心掛けたい。						
履修登録者数	61名	定期試験 受験者数	49名	合格者数	42名	合格率	86%